名古屋市役所からの報道発表

東山動植物園　マヌルネコが転出します

報道発表日時：２０２６年11月19日 午前10時30分

東山動植物園で飼育しているマヌルネコの「ノブ」が恩賜上野動物園へ転出いたしますので、下記のとおりお知らせします。

1 転出するマヌルネコ

- 名　前：ノブ
- 性　別：オス
- 年　齢：1歳（２０２５年５月２６日　東山動植物園生まれ）

2 転出予定日

令和８年１２月２日（水曜日）

3　転出理由

ブリーディングローンで上野動物園から貸与されているメスの「ミーニャ」の繁殖仔である「ノブ」を、その成果として所有権のある上野動物園に転出します。

4 これまでの経緯

東山動植物園での繁殖は２３年ぶりでした。

生まれた3頭は愛称投票の結果、「ノブ」「ヒデ」「ヤス」と命名されました。「ヒデ」は令和8年6月10日に旭山動物園に転出しました。

5 取材について

動物搬出時は撮影はできませんのでご了承ください。

なお、写真等が必要な場合にはご相談ください。

（参考）国内のマヌルネコ飼育頭数（2025年末時点）

9施設22頭（オス12頭、メス10頭）

（参考）東山動植物園のマヌルネコ飼育頭数（移動する「ノブ」を除く）

4頭（オス2頭、メス2頭）

（参考）マヌルネコ（食肉目 ネコ科）

ワシントン条約付属書II表

学　名：*Felis manul*

英　名：Pallas’s cat

体　長：50-60cm

体　重：2.5-5.0キログラム

分　布：シベリア南部から中華人民共和国、イラン、アフガニスタン等

生態等：体は灰色で褐色や黒の細かい縞があり、尾には黒い輪状の縞がある。体毛は長く密集し、目の端から頬に黒色の縞が走る。他のネコ科の動物と比べると足や爪が短い。額は高く、丸い耳が低く離れた位置にある独特な顔をしている。

　他のネコ科動物とは歯の数や瞳孔の形が異なるという特徴がある。

　生息地は高標高地で、中には 5,000mを超す高地に生息するものもいる。主に夜行性で単独で生活しており、ネズミ類、ナキウサギ、鳥類などの小型の動物を捕食する。

野生下での繁殖生態の詳細は不明だが、飼育下では 4 月下旬から 5 月に、1頭から5頭の仔を産む。

【写真】（注）写真データが必要な場合はご連絡ください。



転出するマヌルネコ　ノブ（オス）
令和8年2月6日撮影

報道発表に関するお問い合せ

緑政土木局東山総合公園東山動物園
担当者：茶谷・永田
電話番号：782-2111
ファクス番号：782-2140
Eメール：higashiyama@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp